

旧広島陸軍被服支廠の今後の方針について

1 要旨・目的

旧広島陸軍被服支廠の今後の方針について報告する。

2 現状・背景

旧広島陸軍被服支廠については、建物の安全対策を進める必要があることから、耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる安全対策と最小限の利活用を同時に実現させるために、建物3棟の安全対策の実施設計業務を実施した。

また、有識者等で構成する懇談会を設置し、活用の方向性について、取りまとめた。

併せて、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値調査を実施した。

これらの調査等を令和5年3月に取りまとめた上で、その結果を踏まえ、国に対し、安全対策工事の財源確保や文化財指定に向けた調整を進めた結果、昨年11月24日に重要文化財の指定答申が行われた。

また、広島市に対しても、安全対策工事の財源負担について調整を実施してきた。

3 概要

(1) 主旨

旧広島陸軍被服支廠の県所有の3棟について、国や広島市との財源負担に関する調整等が整ったことから、保存に向けて、安全対策工事に着手することとし、必要な予算を、令和6年度当初予算案に計上する。

(2) 旧広島陸軍被服支廠に係る財源負担等の調整状況

ア 重要文化財への指定

- ・国の文化審議会において、重要文化財の指定答申が行われ、本日、官報に告示され、正式に指定された。

イ 安全対策工事の財源の調整

(国)

- ・重要文化財への指定により、文化庁の耐震化の補助金によって支援が得られる見込みである。

(広島市)

- ・県と広島市は、全4棟の活用について協力して検討を行うものとし、安全対策工事の終了後、県議会の議決を得ることを前提として、広島市に、1棟(1号棟)を無償譲渡する。
- ・広島市は、安全対策工事の費用の一部を負担することとし、負担割合は、事業費から国が補助する額を控除した残額の2分の1に相当する額とする。

ウ 国所有4号棟の状況

- ・財務省において、令和6年度予算案に4号棟の安全対策工事費が計上されており、県の安全対策工事に合わせて、4号棟についても工事を実施する予定。

(3) 令和6年度予算要求額（令和7～8年度債務負担行為設定額を含む）

29億円台半ばとなる見込み（調整中）

4 今後の対応

安全対策工事については、国や広島市と、詳細な補助金額等について調整を行った上で、令和6年度当初予算案に計上する。

5 その他（関連情報等）

[旧広島陸軍被服支廠 | 広島県 \(hiroshima.lg.jp\)](http://hiroshima.lg.jp)